

事業名	尼崎市視察・ごみ減量・リサイクル推進事業
-----	----------------------

目的 (どのような課題を解決するためかなど)	ごみ減量、リサイクル推進事業について。尼崎市一般廃棄物処理基本計画や、尼崎市家庭ごみべんりちょう、事業系廃棄物適正処理ルールブック、尼崎市立クリーンセンター第2工場の熱エネルギー活用や環境保全計画、資源リサイクル、最新技術の応用等、数多くの取組について学び、将来的なごみの課題やリサイクル事業等、将来の大和市のごみの課題について学ぶ。
内容	尼崎市では、市民工房やさわやか推進員制度等により、美化活動への関心を高め、市民参加のすそ野拡大を図るなど、ごみ減量、リサイクル推進に関する政策に数多く取組んでいる。ごみ出しのマナー向上や、「みんなで広げる、もったいない! あまがさき」を合言葉に1日の1人あたりのごみ減量目標をたまご1個分(約47グラム)と、定めている。ごみを減らす計画を定めることにより、家庭でのごみ、事業系のごみを10%削減する計画を立てている。リデュースやリユースといった、コスト意識、環境問題以外の解決を目指し、みんなで取り組むといった意識を市・市民・事業者で共有することでごみを減らし、将来的にはコンパクトな新ごみ処理施設を目指す。
成果等 (市に活かせること等)	尼崎市は、一般廃棄物処理基本計画を定めこれからの10年間でごみを10%減らすことを目指すことで、我々が普段捨てているごみには、まだ食べられる食品もあり、食品ロス分析調査や、分別すればリサイクル出来る紙資源など、「もったいない」ものがたくさん捨てられている現状は大和市においても同様の課題があると考え。ごみの減量は環境問題の身近な課題であるという意識を共有すること、条例を定めることにより、家庭ごみ、事業系のごみの削減に成功することや、市内高校生に協力、応援をしてもらい繋がりを構築する等、尼崎市での学びを参考に、大和市における課題のあらゆる面でできることを探っていきたいと考える。